

主な導入製品

■リアルタイムグラフィックス
XPression■スポーツグラフィックス
PIERO

■ ROSS Video社

カナダのオンタリオ州イロコイに本社を置くROSS Video社は、オンタリオ州オタワに研究開発施設を運営し、ニューヨーク州、英国、オーストラリア、シンガポールにオフィスを構えています。

■ 事業内容

Rossソリューションは、Eurosport、BBC World、SKY、Yahoo!、そして国際的なeスポーツ大会などの視聴者とマーケティングパートナーに感銘を与えています。ROSSは、カメラ、リアルタイムモーショングラフィックス、プロダクションスイッチャ、ロボットカメラシステム、拡張現実/バーチャルスタジオ、ビデオサーバ、インフラストラクチャとルータ、ソーシャルメディア管理、ニュースルームシステム、ライブイベント制作サービスなど、比類のない製品とサービスを提供しています。

<https://www.rossvideo.com>

Introduction

試合の見方を変える新たな挑戦

サスカチュワン・ラフライダースが2025/26シーズンの開幕戦を迎えたとき、Mosaic Stadiumに集まったファンは、カナダのライブスポーツ史上初となる新しい体験を目の当たりにしました。

ラフライダースは、カナディアン・フットボール・リーグ（CFL）を代表する伝統あるチームのひとつであり、熱狂的で忠実なファンベースを持つことで知られています。また、そのゲームデー体験は、北米の主要スポーツフランチャイズにも匹敵する高い評価を得ています。

試合当日のテクニカルプロダクションを担当するKaleidoscope Productionsは、今シーズン、彼らはカナダのライブスポーツでは前例のない挑戦に踏み切りました。

それは、ダウン&ディスタンスライン（次のファーストダウン地点を示すライン）をスタジアム内でリアルタイム表示することです。これまでテレビ中継ではおなじみだった視覚情報を、スタジアムの観客にもライブで提供することで、ファンはより直感的かつ分かりやすく試合を楽しめるようになりました。この革新的な試みは、スタジアム観戦体験の新たな可能性を切り開くものとなっています。

The Challenge

ビール用冷蔵庫にどう対抗する？

ラフライダースにとって、ゲームデーは単にフットボールの試合を開催するだけではありません。ファンにとって忘れられない体験を創り出すことが何よりも重要です。

自宅観戦の環境がかつてないほど充実している今、競争相手はフィールド上の対戦チームだけではありません。大画面テレビ、ビールが冷えた冷蔵庫、ボール後方からの迫力ある映像、そして視聴者が当たり前のように期待するデータ連動型グラフィックスースタジアムはこうした自宅観戦の魅力とも競い合わなければなりません。

ラフライダースは、CFLにおけるゲームデープロダクションのリーダーであることに誇りを持っており、その進化を支える存在としてKaleidoscope Productionsを信頼しています。Ross Videoの長年のパートナーでもある彼らとは、Mosaic Stadiumの将来像や目標について日頃から密接に意見交換を行っていました。そのため、私たちはスタジアム向けグラフィックスの新しいソリューションに彼らが強い関心を示すことを確信していました。そのソリューションこそが、PIERO Liveです。

The Solution

すべてのヤードラインに新たな価値を

Mosaic Stadium にとって、PIERO Live の導入は単なる新しいグラフィックスの追加ではありませんでした。それは、ファンが試合の一つひとつのプレーをより深く理解し、より強く感情移入できる体験を提供するための取り組みでした。

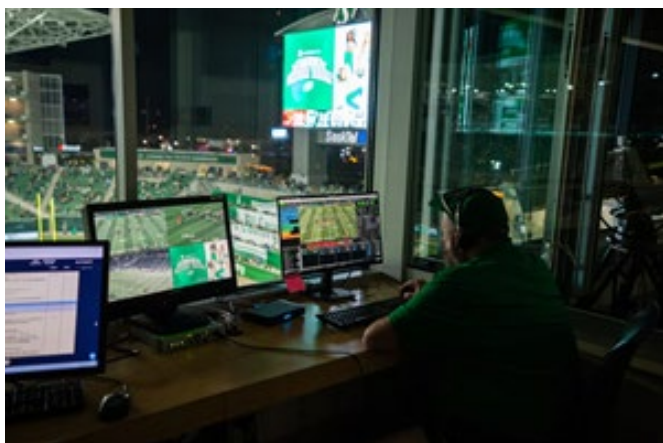
2017 年に Mosaic Stadium が開場した際、サスカチュワン・ラフライダーズと Kaleidoscope Productions は Ross と密接に協力しながらコントロールルームを構築しました。その際、Ross のスイッチャー、ルーティングシステム、そして XPression システムを採用し、スタジアム内の映像演出基盤を整備しました。

当時としては大胆な決断でした。Ross は大型スタジアム市場で存在感を高めつつある段階にあり、Kaleidoscope はライブゲームデーの厳しい要求に応えられる完全統合型ワークフローの実現を Ross に託したのです。

その決断は成功でした。そこで、XPression と PIERO のトラッキング技術を組み合わせる可能性を目にしたとき、彼らはその技術をカナダで初めてファンに届けたいと考えました。

導入は慎重にスタートしましたが、その後は迅速に進展しました。シーズン開幕戦では、オペレーターが試合を運営しながら交代でトレーニングを受け、PIERO Live はほぼすべてのプレーに組み込まれました。そして初戦から、そのシステムは高い信頼性と直感的な操作性を証明しました。

最大の課題は、PIERO Live で何ができるかではありませんでした。むしろ、できることが多すぎて「次に何を実現するか」を選ぶことだったのです。



Impact

ファンに愛される新たな定番

Mosaic Stadium は、カナダで初めて PIERO Live を導入した主要スタジアムとなりました。そして、その存在は短期間のうちにラフライダーズのゲームデー体験を象徴する要素へと成長しました。当初は試験的な取り組みとして始まったものの、すぐに試合運営に欠かせない存在となったのです。

主な活用例には次のようなものがあります。

■ 試合演出の強化

ダウン&ディスタンスラインや各種オーバーレイ表示により、MaxTron 大型ビジョン上でテレビ中継さながらの分かりやすい試合演出を実現しました。

■ スポンサー施策の高度化

スポンサー企画である Conexus Money Zone にライブグラフィックスを導入。ファン体験を向上させると同時に、新たなスポンサー露出機会を創出しました。

■ 選手情報の可視化

記録達成を祝うマイルストーングラフィックスや各種スタッツ表示により、ファンが選手の活躍をより深く理解し、試合への没入感を高められるようになりました。

■ インタラクティブコンテンツ

試合前やハーフタイムに実施されるファン向けアクティベーションやゲーム企画にも活用され、エンターテインメント性をさらに向上させました。

こうした取り組みの成果は、あらゆるレベルで高く評価されました。

さらに、チームが PIERO Live の活用経験を積むにつれて、試合の魅力を損なうことなくスポンサーを演出に組み込む新たな方法も次々と生み出されています。



「スタジアム担当者の声」

“

「PIERO Live がもたらす効果を一度体験すると、もうそれなしのゲームデーは想像できません。試合中の演出やファン体験に与えるインパクトは非常に大きく、今では欠かせない存在になっています。」

カリナ・スワン

サスカチュワン・ラフライダーズ
ゲームエンターテインメント&コミュニティマネージャー